

山 行 報 告

3 月の山行 小網代の森&三浦港

■期 日：2017 年 3 月 14 日（火）

■参加者：佐藤登代子、佐野加代子、植村澄江、三井吉由江、村山裕嗣、石光久仁子、
石田要久、下野武司、長谷川公子（ゲスト）、染谷美佐子（係り）（10 人）

■コース：三崎口＝引橋→小網代の森→シーボニア入口→三崎港（解散）

京浜急行三崎口駅に 10 時頃駅に着くとバス停はハイカーでいっぱい、この季節には人気のスッポットのようだ。10 時 30 分に全員集合してバスに乗り込む。引橋下車。階段状の道をゆるやかに下る。小網代の森は、三浦半島の先端に位置し相模湾に面した 70ha の森で、中央を流れる浦の川の集水域で森林、湿地、干潟、海までも観察できる貴重な森だ。

小雨の中、木々はまだ芽吹いていないが、斜面にはスミレが咲いていて春を感じる。干潟に出て海を見ると山とは違った開放感があるが、アカテガニなどは見つけれなかった。

ゆっくり回っても 2 時間程度の歩きで、物足りなかったと反省！

昼食はバスでシーボニア入口から三崎港まで移動して、お目当ての「まぐろ料理」をいただき、「みさきまぐろきっぷ」で各自、好みの土産を購入して三崎港で解散した。



4 月の山行 勝峰山（454m）・深沢山（460m）

■日 時 2017 年 4 月 11 日（火）【雨天中止】

4 月の特別山行 小笠原

2016 年 12 月の晚餐会で小笠原の延島さんにお会いしたのがご縁で、小笠原に急遽行くことになりました。

■期 日：2017 年 4 月 22 日～27 日

■参加者：下野夫妻、深田夫妻、大島洋子、馬場孝子（ゲスト）大河原市江（ゲスト）
係り佐藤登代子 アドバイザー延島冬生

4月22日（土）11時竹芝桟橋～24時間～小笠原父島着23日11時着。延島さんの出迎えをうける。母島丸に乗り換えの案内して頂く。

23日（日）父島発12時～14時母島着

船に24時間プラス2時間船に乗り、午後2時母島に着く。宿の迎えに案内されてやっと母島の宿に着く。荷物を置き、夕食まで時間があるので鯨が崎展望台、脇浜なぎさ公園を散策する。グンバイヒルガオの群落が迎えてくれた。その後明日登る乳房山の登山口を確認して宿に戻る。

24日（月）晴れ

朝5:50宿をでる。20分で登山口に着く。下野さんを先頭に登山開始。カタマイマイが地面を這い、テルハボク、オガサハラビロウなどが生い茂る。湿性高木林の中を行く、40分でビロウ葎きの東屋に着き一息いれる。戦跡、爆弾跡で初めてマルハチを見る。20～30分毎に休憩所があり、そこから見る海の色の濃淡が美しい、ガジュマルのトンネルを抜けアデクアカギなど初めて目にする木ばかりだ。

8:10乳房山着。父島母島の最高峰463m、3等三角点。30分程眺望を楽しむ。下りは稜線上を歩く所も有り爽快で、快適に進む。下りの道も所々に休憩所があり、紺青の海と、大小様々な島が望める。休憩所毎に休みながらゆっくり降りる。

11:00下山口着。港でお昼を食べ乗船まで時間があるので有償運送の車で御幸ガ浜へ散策に行く。行幸記念碑を見、タマナ並木を歩き港に戻る。

14時ははじま丸に乗船父島二見港へ向け出航。16時父島港に着く、父島の延島さんの出迎えを受け明日から父島案内の打ち合わせをする。

（文 大島洋子）



母島・乳房山

4月25日（火）宿泊したパパス・アイランドリゾート（素敵なホテルでした）でAm7時 朝食 8時30分 案内人の延島さんの車とレンタカー（深田さん運転）に分乗して出発。ホテルから10分ほどで咸臨丸（かんりんまる）墓地に到着。咸臨丸は幕末に江戸幕府が所有していたオランダ製の木造軍艦として記されている。次に扇浦では、小花作造の碑、カナメ岩、烏帽子岩等を見学。北袋沢近くの広い公園の屋根付きベンチでお弁当をいただく。デイゴの花が咲いていたのが印象的。319メートルの中央山（三等三角点あり）に着く。近くの境浦海岸からの景色も

抜群に良かった。13 時 30 分 一般の人は入れないサンクチュアルを見学。ここでは
タコノキ、ヘゴノキ、赤木、トキワイヌビワ、モンテンボク、チチジマクロキ等
を見学した。次に小湊海岸では八瀬川と海岸との接点を歩き、海枕状溶岩を見る。オ
オハマボウ、マツバシダ（ハスノハギリ）を見る。その後、ホテルの近くのビジタ
ーセンターに立ち寄り、1 時間ほど見学、最後に小笠原の自然についてビデオを見て
4 時頃ホテルに戻った。



父島・中央山

26 日（水） 7 時朝食、8 時 30 分に宿を出発。三日月山のウェザーステーションを見学。
車で 10 分ほどで長崎展望台に着き、ここからは兄島などが見えた。さらに展望の良い
夜明山に着く。展望を楽しんでから初寝山に。さらに車で数分のところにあったのは、
90 年以上前に使われていた発電用と通信用の大型軍事施設の朽ち果てた姿だった。
ここには多くの観光客が見学に来ていた。この近くには首なし尊徳像があった。二宮尊
徳の像の首を米兵が持ち帰ったという話も妙に説得力があった。ここから大村海岸まで
クルマで 15 分ほどであった。12 時、延島さんと別れ、近くの食堂に入った。ビールで
乾杯の後みんなで昼食を楽しんだが、珍しいカメの刺身定食は評判ほどではなかった。
父島湊で 3 時に乗船し、3 時半に竹芝に向けて出発した。地元の若者たちによるお別れの
和太鼓の演奏は腹に響いた。大小 12 艘のボートが我々の小笠原丸を先導し、あるいは
追走して最後は、裸で海に飛び込む姿を見せて、感動を盛り上げてくれたことは印象的
だった。
(文 下野 武志)

5 月の山行 馬入不山（うまいらずやま・345m）

■期 日：2017 年 5 月 9 日（火）晴れ

■参加者：田中美恵子、須藤節子、植村澄江、石田要久、深田夫妻、係り佐藤登代子、
係り上田景子、藤田礼子（ゲスト）

《栃木支部》関根和男、長百合子、鈴木清一、石井シモ子

栃木の 4.5 月は山が最高に美しい、山笑う季節である。新緑色に山ツツジの東雲色が抜ける
ように辺りに溶け込んでうっとりする。

4 月 21 日より東武電車はダイヤ改正となり、まさか庶民の一番親しまれていた快速がなくな
るとは？！したがって、佐藤、田中、植村、石田さんは 10 時近くになって新大平下駅に

集合、一緒に電車でなくて、皆さんどんなにか心細かったのではないかと想像する。

鈴木車、上田車に分かれて清水寺〔下野坂東第26番札所〕へ。

駐車場では関根さん、長さん、石井さんが待ちくたびれていた。自己紹介する間もなく、柏餅が関根さんから差し入れられ、大感激！！それをエネルギーとして、十一面観音堂をおまいりして10時30分晃石山へ。このコースは晃石山への最短距離、はじめから急登、休む場がないほどの急登、樹林帯の中に行く。まもなく晃石神社に着く。

ゆっくり休む間もなく、一等三角点の晃石山（419m）へ、春霞で日光連山は見え、否、目のいい人には薄く見えていました！！山頂のつつじはまだまだ咲き、記念撮影！折角登ったのに急降下、関東平野の里山はアップダウンの厳しいこと、青入山へ。山肌をもろに出した岩船山、その奥にアオダモの花が綺麗という大小山（314m）の山塊、目の前の大きなアオダモの樹などを眺めながら昼食。

これから木製のですりのある山道を下る。ツツジを見ながらやがて桜峠に着く、やま桜はごつごつとした木肌が異様なほど黒く。我ここにありと固辞しているように見える。

この峠は（表東山道と裏東山道を結ぶ峠）と桑野正光著（日本山岳会栃木支部）

「栃木の峠」に記してある。山すそをぐるっと回るより峠を越えていけば遥かに近い。

重要な交通路であったようだ、東山道とは奈良時代の官道とのこと。峠には山桜でももの巨木が立っている。

峠を過ぎていよいよ馬でも通りにくい難所だったという馬不入山に行く、登って下ってまた登って下る。そして頂上。ここからも岩船方面には下らずに、元来た道に戻る。桜峠の桜にサヨナラし清水寺駐車場に着く。

今回の最後のイベントは大中寺見学、山門へと続く道は大平山と同じアジサイ、背景は杉木立、そしてこわ〜い、ここは雨月物語にも登場すると七不思議を、関根さんの解説よろしく見て回った。

これで今回の山旅は終わり、新大平下駅へ急ぐ。ちょうど16:43発が停車しており全員車中の人となった。（一人乗り遅れた人がいたけれど大丈夫だったかしら）

東京の人よ、さようなら！お疲れ様でした！

北アルプスはお花畑が綺麗です。でも栃木はそれらしきを感じるのは北部の大峠、流石山、那須連山だけです。しかし木々の花がとてもきれいです。川を隔てて対岸の山々にアカヤシオ、シロヤシオ、アオダモ、水木、山法師、橡の樹、シャクナゲなどをみつけると、もうここでいい、と立ち止まってしまいます。

秋はモミジの種類の多さに頭の中が整理しきれなくなります。帰りにはお蕎麦です。お蕎麦は信州だとばかり思っていた私は、今では栃木のお蕎麦の方がおいしいと思うようになりました。またどうぞ栃木の山へいらして下さいませ。（文 上田景子）

爽やかな五月の時に栃木の上田さんのお世話で、栃木の山を楽しむことが出来ました。新緑の美しさ、ツツジの花やアオダモや色々な花々に囲まれた山道は素晴らしいものでした。昔から花より団子といわれるように、電車で遅れて着いた我々を迎えてくれたのは関根さんの柏餅でした。お陰様で、バタバタしていた気持ちもお腹も落ち着き、晃石山への急登へも頑張って歩くことが出来ました。

又雨月物語で有名な大中寺にも寄ることが出来、七不思議など面白い足跡を案内してい

いただきました。上田さん、鈴木さん車を出していただき有難うございました。

栃木の人達の温かいもてなし、ありがとうございました。

久しぶりに再会した長さんは早速、二火会に入会してくださり、仲間がまた一人増えました。嬉しい限りです。今度は山とお蕎麦を是非頂きた〜い。 楽しみにしています。

(文 佐藤登代子)



晃石山



馬不入山

平成 28 年度会計報告

2017 年 5 月 26 日

収入の部		支出の部	
前期繰越金	145,570	切手代	28,240
会費	37,000	ラベル	2,775
利息	15	封筒	30
		印刷代	18,145
		はがき代	6,396
収入合計	182,585	支出合計	55,586
		28年度繰越金	126,999
合計	182,585	合計	182,585

監査日：平成 29 年 4 月 18 日（渡部温子）

平成 29 年度予算

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月末

収入の部		備考		支出の部	
28年繰越金	126,999	29年会費納入者8名3月末		三つ折り 定型25g・82円	
		(上田、川合、熊谷、三井		切手代(45×5回)	18,450
		佐野、須藤、長谷川、三関		ラベル	3,000
				はがき@62×45	5,580
会費収入	37,000	37名分		印刷代	20,000
利息	0			座学講師料 1回	5,000
29年度収入合計	163,999			その他(文具、経費)	1,000
* 会員45名				支出合計 ①	53,030
		来期繰越金	110,969	来期繰越金 ②	110,969

①+②=163,999

* 会費1000円×45 名=45000 円

年会費納入のお願い

新たな会計年度になります。総会時に徴収いたしました。欠席の方は、2017 年 4 月～2018 年 3 月分の年会費 1,000 円を下記「ゆうちょ銀行」口座にお振込をお願いいたします。すでにご納入いただいた方はご容赦ください

不明な点は佐藤代表及び会計担当の石光迄お問合せ ください。

ゆうちょ銀行

店名：008（読み ゼロゼロハチ） 店番：008 普通預金

口座番号：2125817 口座名：二火会

今年度会費納入状況（個別）

※2017 年 4 月～2018 年 3 月

納入済

未納